

時事新報

明治十九年二月一日 月曜日
舊乙酉十二月廿七日 (丙辰)

出午七時二分
入午七時三十分
出午三時三十分
入午三時四十分
西曆一千八百八十六年

時事新報定價

一月前金六十五圓 三月前金一百八十圓 六月前金三百三十圓 一年前金六百六十圓
○左記各埠各埠代價
東京 函館 青森 盛岡 秋田 山形 仙台 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 新潟 富山 石川 福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 和歌山 奈良 徳島 香川 岡山 広島 山口 徳島 香川 岡山 広島 山口 徳島 香川 岡山 広島 山口
○右記各埠代價
東京 函館 青森 盛岡 秋田 山形 仙台 福島 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川 山梨 長野 新潟 富山 石川 福井 滋賀 京都 大阪 兵庫 和歌山 奈良 徳島 香川 岡山 広島 山口 徳島 香川 岡山 広島 山口 徳島 香川 岡山 広島 山口

時事新報

英國保守黨内閣の辭職

前報の倫敦電報に見ゆる如く英國の内閣と新議院開場とに先づ對する答辭の修正案に敗北を取りて辭職したり世人の記憶する如く此迄の内閣保守黨の首領ソルズベリー侯が昨年六月中旬より以て組織したるものとして今日に至る迄在職し時日は僅に半年餘に過ぎずと雖も其間に阿富汗の紛争を解き埃及及處置を定め東歐の紛争に應じ種々の征服と完了たる等其爲す處に英國人民の輿望も協ひ未だ一として過失の見るべきものなかりしに今忽ち議院を敗北と取り去るに其職を辭せざるを得ざるに至りし其原因蓋し一日の故に形らず抑今日英國にて自由保守黨の力を對比すれば保守黨の未だ自由黨より及ぶと能はず左れば昨年十一月下議院の總選挙にも自由黨の當選者三百三十三名に對して保守黨は僅か二百五十一名に過ぎざり然れども前の議院に於ては彼等自治黨と稱するバルセル氏一黨の僅か六十餘名にして自由黨の保守黨に對する多數も今日よりは一層多かりしうば保守黨と自治黨と相合するも到底自由黨に抗するの望みなかりまかせる此度の選挙にて自治黨の議員八十餘名を増し保守黨の議員も亦前より増加したれば保守黨と自治黨と相合すると此は自由黨に對して充分分勝と議院に對する望あるに至りしを以て頼む所は唯自治黨の援けを得て其政府を保持するの一點ありしに然るに一方の自由黨の方にて此度の改選にて復前の如く保守自治二黨の相合したるものも敢て程の力を有せざるに至りまかせる若し自治黨が保守黨の方に倚りしにば我黨は遂に政権を復するの望ありと見て其黨の首領たるグラッドストーン氏等は務めて自治黨の歡心を得て之を我方の味方に入引れ之と力と合せてソルズベリー侯の政府を覆し代つて政権を執らんとせしむるものゝ如し左ればグラッドストーン氏が昨年十二月中華書と女皇陛下に奉りて愛蘭の自治を許し愛蘭マアリン府を愛蘭議院と開設して専ら國內の政務を執行せしむるの望を遂げたるが如き事(此事は本月十三日の時事新報に詳記したり)主としてバルセル黨は歡心を買は

んがたりの所爲なりとい當時紙上に専ら取沙汰したる處ありしが先頃到着したる米國諸新聞に載せたる諸報を見るも粗其事情を知るに足るものゝ如し例へば二月十三日倫敦より米國紐約育トリビオン新聞に達したる電報云々
(前略)此度の選挙の結果判然たる及びグラッドストーン氏は直ちにバルセル氏と和睦し愛蘭自治の方向に同意せんと決心せしが他の自由黨の人々は今にして此策を行ふの時機尚早くして危険なりとて之を止めたり云々
又十二月十七日ダブリン府發して桑 港 シロコナル新聞に達したる電報に
倫敦よりアイリッシュユニオン新聞への電報に若し英國議院開場後節女皇は勅語中に愛蘭の地方自治事なき時はグラッドストーン氏の直ちに勅語修正の勸諭と起して此處置(地方自治云々)は愛蘭に取らざる必要なる旨と諭すべし其時バルセル黨は此勸諭を贊成すべきに付グラッドストーン氏は再び政府に入りて愛蘭の自治を許すの議案を提出するからんと云々
倫敦よりユニオンプレス新聞への電報もグラッドストーン氏が愛蘭改革の策を妨ぐるの故障を除くの助けとあさん爲りて英國皇太子の助力を求むるとは疑なき事實なり
フリーマンズズチムナル及びユナイテッドアイランド等の新聞(皆自治黨の機關なり)は孰れもソルズベリー卿が不満足ある愛蘭自治の方法を提出するに於ては保守黨の政府は自由黨とバルセル黨との聯合に依りて覆せらるゝからんと云へり
是等の諸報を見れば自由黨の方にては勉めて自治黨に助けを先自治黨の方にては亦自由黨と助けて其力に依りて愛蘭自治の目的を達せんとする意向ありしを見るべし然るに保守黨の方にては別に見る處ありて敢て自由黨と競ふてバルセル黨を味方に引入んことを務めざるのとならず本月二十一日議院開場の時女皇陛下に勅語にも英國と愛蘭との合同を妨ぐる者と責し愛蘭人民に強迫恐嚇と録する爲めには更有力を用ひざるべからず云々と仰りて暗に自治黨を反對するの意を示さればグラッドストーン氏は此機に乗じて謀りたる如く議院開場の初めに反對論を提出し其の如く大勝利を得て遂に此度の如き結果に立至りたるものと思はる保守黨内閣の次第は先づ右に如しとして此上グラッドストーン氏が再び自由黨及びバルセル黨を率ひて内閣に入るに至らば英國の内外に對する政略も又大に是までと趣を異にする處あるべしと思はるなり

銀行會社利益配當 (前の續)

富山第十二國立銀行 一六松山米商會所 六六二

大坂通信

一月廿六日大坂通信員郵報
○國事犯嫌疑事件 昨廿五日電報に如く國事犯嫌疑事件にて當地警察本署に拘引中の舊自由黨員磯山清兵衛氏(茨城縣人)の舊生二十名は同氏が曾て兵庫縣下播州地方に於て養ひ置きたるの由なるが同氏の拘引後夫々兵庫縣警察署及び姫路警察署等へ引致となり取調を受け居しが今度右警察署より當府本署へ護送する事とありたるなりかく各府縣下より拘引者續々到着するに以て其の人数既に百名以上にも上りかゝる大人数を一所に留め置き不慮の變も測り難まると本署并に各警察署へ數名の分置する事とありたり聞か所據れば同事件の豫備もいよいよ近日開廷の由なるが各地より送り來る者内には證據不充分なる者も亦あるよまて是等は尙も再應答家宅又は拘引の際止宿なし居たる宿屋等を嚴重に取調ふるとして昨日警察本署にて大浦當部部長大河原長崎縣警部部長并大坂始審裁判所諸別府警事其他掛りの警部等四十三名を以て總會を開き右の手順と議去たる由に聞たり○奈良縣設置 大坂府と割て大和に奈良縣を設置せんとの議論盛んあるよしは本日既に電報をもつて報道せんとするが如きが殊に討論といふは敢て今日より起りたるものと云ふるが殊に昨年大坂府下の大洪水にて其の尤も害と裝りたるもの河内地方の人民なるが被災と同ふする一府の下にある事なれば曾て一の損害も受ける大和地方の人民もその費用をば負擔せざるを得ざるにより其後は一層分割論の熾盛を増し大和地方の有志者ある府會議長恒岡直史氏と始め府會議員の諸氏等も大に盡力する所有て分縣請願委員と撰みて上京せしめたるは昨年中の事ありしが其後政府より何等の沙汰もなきより今又委員を撰みて上京請願せんとするの議論甚だ盛なりと以て恒岡氏は其の程より來坂中なりしが昨廿五日歸郷を發し上請願委員を上京せしむる事あると云ふなりといふ○コレラ病發生 府下にて今年早々より東區内ふコレラ病者三名發見し何れも直に死亡し猶ほ傳染の兆あるを以て豫防法を盡力中なり○巡查奉職年限 大坂府巡查の奉職約年限三箇年なりしが今回五箇年と改正する由あり○商況 例年今頃に至れば各地方の舊正月前にて何品に限り多き注文ありて當地より積出す時節なるに本年は如何なる故注文更もなく商家は皆々手と束ね居る有様あり○市中の金銀も割合に引締り歩み銀行交換所は先づ一銀五六厘、市中の公債相場にて一銀七八厘あり

桐生の近況

一月廿二日上州桐生通信員發郵
○桐生の近況 一月廿二日上州桐生通信員發郵
○桐生の近況 一月廿二日上州桐生通信員發郵

○桐生の近況 一月廿二日上州桐生通信員發郵
○桐生の近況 一月廿二日上州桐生通信員發郵
○桐生の近況 一月廿二日上州桐生通信員發郵